

予定はないが。)でも、英語が嫌いな人も苦手な人も、TOEIC に関しては諦めることはない、と私が自信をもって言いたい。だって勉強したらちゃんと点数とれたんだもの。

最後に、前回のTOEICの対策の際に相談にのっていただいた石原先生、国コミュの4年生の先輩に、この場を借りてお礼を申し上げます。ちゃんと目標点数とれました。ありがとうございました。また、もし気が変わって受験しようと思ったときには、ご指導よろしくをお願いします。

TOEIC と私

法学部3年 西村 瑠保理

「我が社の公用語を英語にします」というセリフから始まる某インスタント麺企業のCMがある。不安に駆られる中、必死に外国人の上司に立ち向かおうとする甲冑を着たサラリーマンたちを描いている。最初は「英会話の塾の宣伝か?」とも思ったが、最後には某社の看板商品が出てきて「これかい! (笑)」と安心させてくれたのと同時に、まるで某ネット関連企業を皮肉っているようでクスッとさせてくれた。その中に英検3級、TOEIC 300点というセリフが出てくる。点数云々はおいといてTOEFLを含めこれら日本人がどれか一つは必ずと言っていいほど受けている英語の資格だ。

特徴としてTOEICはビジネス色満載であり、TOEFLは学術的内容により小宇宙が生成されているといっても過言ではない。その点、英検は日常的なものからアカデミック、ビジネスと幅広い。英検は他の2つと違い、合格点さえとればよい。つまり満点の人も胴体着陸の人も等しく級がとれるのである。うむ、魅力的。勉強方法は、一次試験では3級までは文法中心で

よいだろうが、準2級以上になると話は変わる。文法力と共に語彙力をつけなければならない。さもないと、ギリで一次落ちという悲劇的現象が頻発する。ただ、単語帳をやりこむほどではなく参考書の単語のリストの意味が分かる程度でいいだろう。1級には記述問題もあるが今回は割愛させていただきたい。一次を突破すると次に待ち構えているのは面接だ。ここで重要なのはとにかく積極性をアピールし評価の一つ *attitude* の点を稼ぐことである。面接で何があるかわからないことも考慮し是非とも満点をいただいておきたい。さて、正直、大学生になるとTOEICの派手な出現に伴い英検の影は薄くなる。と言っても国内なら認知度もあり全く使えないこともないはず、多分。ここまで英検を例に話を進めてきたが、これら資格試験は英語を学ぶという目的・手段の一つであればいいだろう。何より重要なのは、「英語を学びたい」という意思だと私は思うのである。



ドイツ語検定

経営学部 島田 了

ドイツ語技能検定試験について

ドイツ語技能検定試験(独検)は、公益財団法人ドイツ語学文学振興会が主催する検定試験で、1992年に始まったものです。当初は、1級、2級、3級、4級で始まりましたが、後に準1級と5級が追加され、より幅広いレベルに対応することになりました。試験は、春季(6月)と秋期(11月)の年2回行なわれています(ただし1級、準1級については秋期のみ、かつ二次試験として口述試験が別日程であります)。